

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[EAP Cisco Wireless \(Cisco LEAP\) の設定](#)

[手順説明](#)

[AP でのEAP Cisco \(Cisco LEAP\) の有効化](#)

[手順説明](#)

[ACU 6.00 の設定](#)

[手順説明](#)

[Cisco AR からのトレース](#)

[関連情報](#)

## 概要

Cisco Networking Service Access Registrar ( AR ) 3.0 は、Light Extensible Authentication Protocol ( LEAP ) ( EAP-Cisco Wireless ) をサポートしています。このドキュメントでは、Cisco AR への LEAP 認証のためのワイヤレス Aironet クライアント ユーティリティおよび Cisco Aironet 340、350、または 1200 シリーズ アクセスポイント ( AP ) の設定方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Aironet® 340、350、か 1200 シリーズ アクセスポイント
- Cisco LEAP のための APファームウェア 11.21 またはそれ以降
- Cisco Aironet 340 か 350 シリーズ ネットワーク インターフェイス カード ( NIC )
- Cisco LEAP のためのファームウェアのバージョン 4.25.30 またはそれ以降
- Cisco LEAP のための Network Driver Interface Specification ( NDIS ) 8.2.3 またはそれ以降
- Aironetクライアント ユーティリティ ( ACU ) バージョン 5.02 または それ 以降
- Cisco Network Registrar 3.0 またはそれ以降が Cisco LEAP および MAC 認証 要求を実行し、認証するために必要となります

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始して

います。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## EAP Cisco Wireless (Cisco LEAP) の設定

このセクションは Cisco AR サーバ、AP およびさまざまなクライアントの Cisco LEAP の基本設定をカバーします。

### 手順説明

LEAP を設定するこれらの手順に従って下さい:

1. Cisco AR サーバのポートを変更して下さい。AP は User Datagram Protocol (UDP; ユーザデータグラムプロトコル) ポート 1812 (認証) および 1813 の RADIUS 情報を送信します (会計)。Cisco AR が UDP ポート 1645 および 1646 でデフォルトで受信するので、Cisco AR を UDP ポート 1812 および 1813 で受信するために設定して下さい。`cd /radius/advanced/ports` コマンドを発行して下さい。ポート 1812 を追加する `add 1812` コマンドを発行して下さい。会計をすることを計画する場合ポート 1813 を追加する `add 1813` コマンドを発行するため。設定を保存し、次にサービスを再開して下さい。
2. AP を Cisco AR サーバに追加するために、これらのコマンドを発行して下さい:`cd /Radius/Clientsap350-1` を追加して下さい `cd ap350-1IP` アドレス 171.69.89.1 を設定して下さい `sharedsecret cisco` を設定して下さい
3. Wired Equivalent Privacy (WEP) キーセッションタイムアウトを設定するために、これらのコマンドを発行して下さい:注802.1X は再認証オプションを規定します。Cisco LEAP アルゴリズムはユーザ向けの切れ、新しい WEP セッションキーを発行するこのオプションを電流 WEP セッションキー利用します。 `cd /Radius/Profilesap` プロファイルを追加して下さい `cd ap` プロファイル `cd` 属性セッションタイムアウト 600 を設定して下さい
4. プロファイルを使用するユーザグループを作成することはステップ 3 で、発行しますこれらのコマンドを追加しました: `cd /Radius/Usergroupsap` グループを追加して下さい `cd ap` グループ一定 `baseprofile ap` プロファイルこのユーザグループのユーザはプロファイルを受継ぎ、次々とセッションタイムアウトを受け取ります。
5. ユーザー一覧のユーザを作成し、ユーザをステップ 4 で定義されるユーザグループに追加するためにこれらのコマンドを発行して下さい: `cd /Radius/Userlistsap` ユーザを追加して下さい `cd ap` ユーザ `user1` を追加して下さい `cd user1` `set password Cisco`一定グループ `ap` グループ
6. ローカル認証および許可サービスを UserService 「apuserservice」を使用し、サービスタイプ「eap LEAP」を設定するために作成するためにこれらのコマンドを発行して下さい: `cd /Radius/Servicesaplocalservice` を追加して下さい `cd aplocalservice` セット型 `eap LEAP` `UserService apuserservice` を設定して下さい
7. ユーザサービス「apuserservice」を定義されるステップ 5 でユーザー一覧を使用するために作成するためにこれらのコマンドを発行して下さい: `cd /Radius/Servicesapuserservice` を追加して下さい `cd aplocalserviceset` type `localuserlist ap` ユーザを設定して下さい
8. Cisco AR がステップ 6 で定義されるサービスに使用することデフォルトの認証および許可

を、発行しますこれらのコマンドを保守して下さい設定するために:  
`cd /radiusdefaultauthenticationservice aplocalservice` を設定して下さい  
`defaultauthorizationservice aplocalservice` を設定して下さい

9. 設定をリロードするために保存し、これらのコマンドを発行して下さい:`savereload`

## AP でのEAP Cisco (Cisco LEAP) の有効化

### 手順説明

AP の Cisco LEAP を有効にするために次の手順に従って下さい:

1. AP に参照して下さい。
2. Summary Status ページから、『Setup』 をクリックして下さい。
3. Services メニューでは、Security > Authentication Server の順にクリックして下さい。
4. 802.1X プロトコル バージョン ドロップダウン メニューのこの AP で動作するために 802.1X のバージョンを選択して下さい。
5. サーバ Name/IP テキストボックスの Cisco AR の IP アドレスを設定して下さい。
6. サーバタイプ ドロップダウン メニューが **RADIUS** に設定されることを確認して下さい。
7. **1812** にポート テキストボックスを変更して下さい。これは Cisco AR と使用するべき正しい IP ポート番号です。
8. Cisco AR で使用される値で共有秘密 テキストボックスを設定して下さい。
9. **EAP Authentication** チェックボックスを選択して下さい。
10. そう望まれたらタイムアウト テキストボックスを修正して下さい。これは Cisco AR の認証要求のタイムアウト値です。
11. Security Setup 画面に戻るために『OK』 をクリックして下さい。また説明する RADIUS をする場合会計 セットアップページのポートが Cisco AR で一致することを確認して下さい ( 1813 ) のために設定される設定されるポートと。
12. [Radio Data Encryption (WEP)] をクリックします。
13. WEPキー 1 テキストボックスの 40ビットまたは 128ビットのキー値を入力することによってブロードキャスト WEPキーを設定して下さい。
14. 使用するために認証種別を選択して下さい。、少なくとも、**Network-EAP** チェックボックスが選択されることを確かめて下さい。
15. Use of Data Encryption ドロップダウン メニューが **OPTIONAL** または **FULL ENCRYPTION** に設定されることを確認して下さい。オプションのは同じ AP の非 WEP および WEP クライアントの使用を可能にします。これが不確かな動作モードであることに注意して下さい。 Full Encryption を時可能な限り使用して下さい。
16. 終わるために『OK』 をクリックして下さい。

## ACU 6.00 の設定

### 手順説明

ACU を設定するために次の手順に従って下さい:

1. ACU を開きます。
2. ツールバーで『Profile Manager』 をクリックして下さい。
3. 新しいプロファイルを作成するために『Add』 をクリックして下さい。

4. Profile Name をテキストボックスで入力し、次に『OK』 をクリックして下さい。
5. SSID1 テキストボックスの適切な Service Set Identifier ( SSID ) で入力して下さい。
6. 『Network Security』 をクリックして下さい。
7. ネットワーク セキュリティ型ドロップダウン メニューから『LEAP』 を選択して下さい。
8. [Configure] をクリックします。
9. 必要に応じてパスワード設定を設定して下さい。
10. [OK] をクリックします。
11. Network Security 画面で『OK』 をクリックして下さい。

## Cisco AR からのトレース

Cisco AR のトレース出力を得るためにトレース `/r 5` を発行して下さい。 AP デバッグを必要とする場合、Telnet によって AP に接続し、`eap_diag1_on` および `eap_diag2_on` コマンドを発行できます。

## 関連情報

- [Cisco アクセスレジストラ サポートページ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)